

現代中国の「国潮」(ナショナルトレンド) 研究

Research on "National Trends" (National Trends) in modern China

フ セイ
JING FU

大妻女子大学大学院 人間文化研究科言語専攻 修士課程

キーワード：中国, ナショナルトレンド

Key words : China, National Trends

1. 研究目的

近年、中国の「国潮」現象が注目を集めている。この現象は、中国の若者を中心に、国内外で人気を博す中国独自のポピュラーカルチャーが急速に広まっていることを指す。2021年5月に、人民日報と百度が検索データに基づいて過去10年間の中国ブランドと中国製品を検索する人々の傾向を調査し、《百度2021国潮骄傲搜索大数据 (Baidu2021National Tide Pride Search Big Data)》を発表した。このデータによると、中国ブランドの検索数と頻度が大幅に増加しており、10年間で528%上昇した。特に、中国のアニメ・ゲーム業界が著しい成長を遂げ、日本のアニメ・ゲームに対する需要だけでなく、自国内でのオリジナル作品の製作・消費が増加している。この現象は、アニメやゲーム業界に限らず、他の産業にも波及しており、特に中国の化粧品メーカーによる「中国メイク」が注目を浴びている。中国メイクは、中国の伝統文化や現代のポップカルチャーの要素を取り入れた独自のメイクスタイルであり、日本でも注目を浴びるようになった。特に10~20歳代の女性を中心に流行している。¹

この「国潮」現象は、複数の要素が絡み合って成立していると考えられる。これらを現時点で三つの仮説として考えている。まずは、中国の経済成長に伴い、若者の所得水準や生活スタイルが向上し、メイクや美容に対する関心、エンターテインメントへの需要が拡大した。さらに、インターネットの普及とスマートフォンの普及により、ソーシ

ャルメディアやオンラインプラットフォームの利用が急速に広まった。これにより、中国の「国潮」はインターネットを通じて広まる機会を増やし、成長を遂げた。また、「国潮」の成功には、プロモーション活動やブランド戦略も大きく関与している。例えば、中国の化粧品メーカーは、中国の文化や美意識を活かした製品開発やアイドルやインフルエンサーが中国メイクを取り入れるなど、プロモーションに成功し、若者の共感を得ている。これにより、中国の化粧品メーカーは中国国内にとどまらず、日本市場でも存在感を高め、文化交流と商業的な成功を両立させる可能性を示している。そして「国潮」ブームは、中国国民が「国産」に対する自信を高め、その結果として中国の化粧品メーカーやアニメ・ゲーム業界の成長を後押しする一因となった可能性もある。中国の電子商取引 (EC) 大手・京東 (JD.com) 傘下の消費・産業発展研究所が2022年に発表した「2022年Z世代消費者指数レポート」によると、「中国のZ世代 (1995~2009年生まれ) の若者は自国文化に強い自信を持ち、中国の伝統文化と最新のトレンドを融合した「国潮」という経済ブームを引っ張っている。」とある。この現象により、中国の若者は国内の文化やクリエイティブな産業に注目し、それを支持するムーブメントとして広がっていることが分かった。そして中国の化粧品メーカーやアニメ・ゲーム業界が急成長し、国内外で成功を収めることによって、中国国民は「国産」に対して自信を持つようになった。この相互関係は、中国の文化産業

¹ “「純欲」と「白湯」、中国発・メイクに新風”。日本経済新聞. 2022年12月19日
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC123MW0S2A111C2000000/>
(最終閲覧 2023/05/22)

の発展や国際的な影響力の向上に貢献しているとして考えられる。

以上を踏まえて、本研究では学術的な観点から「国潮」現象を探求し、その成立要因や影響を明らかにすることを目指している。また、中国のアニメ・ゲーム業界と中国化粧品メーカーの急成長と日本での人気拡大に関する研究はまだ限定的であり、本研究によって新たな知見が提供されることが期待される。さらに、プロモーション活動や文化交流の役割を詳細に調査することにより、中国のポピュラーカルチャーが日本の市場で成功を収めた要因や両国間の連携の可能性について洞察を深める。

2. 研究実施内容

本研究では、中国の「国潮」現象に焦点を当て、その成立要因や影響を学術的な観点から探求する。具体的には、この一年間に「国潮」現象の成立要因を中心に研究を進めた。

最初に、「国潮」現象の成立要因の歴史背景を調査した。この調査では、中国の歴史的な背景や文化的な伝統、過去数十年にわたる政治・経済の変化などを調査し、これにより、「国潮」現象の原点が1978年に始まった「改革開放」政策に関連していることを明らかにした。その中では特に、1980年代から1990年代にかけての日本の映画・ドラマブームが中国人の思想に及ぼした影響を重点的に分析した。この時期、中国社会は政治的な変化や経済の自由化に伴い、日本文化への接触が増加した。日本の映画やドラマは、中国の若者に新しい価値観や生活スタイルを示し、日常生活における選択肢を拡大させた。これにより、中国の若者はより広い視野を持つようになり、自身のアイデンティティや文化について新たな考え方を模索する

ようになった。

その後、改革開放による日本文化の影響と中国ポピュラーカルチャーの関連性を探る中で、現在世界的に人気のゲーム「原神」が注目された。「原神」は中国のゲーム会社が世界市場において成功を収めた例の一つであり、その成功で中国のポピュラーカルチャーが世界に広まった。ゲーム内には中国の文化や風景が取り入れられており、プレイヤーが中国の文化に触れることができる点が注目されている。特に、「原神」の成功は日本のアニメやゲーム文化との交流が背景にあり、中国の若者が日本の文化に対する理解を深める中で生まれたものであると言える。このように、「原神」の成功は「国潮」現象の一環として位置付けられ、中国のポピュラーカルチャーが国際的な影響力を持つことを示す重要な事例となっている。そして改革開放による日本文化との接触が「国潮」現象の興隆に大きく貢献したことを明確にした。

3. まとめと今後の課題

本研究では学術的な観点から「国潮」現象を探求し、その成立要因や影響を明らかにすることを目指している。これまでの研究では「国潮」現象の成立要因を中心に研究を進め、改革開放による日本文化との接触が「国潮」現象の成立要因であることを明らかにした。

今後の課題としては、「国潮」現象の本質的な理解と発展やその影響についてより深く探究し、中国のポピュラーカルチャーが国際社会でどのような役割を果たしていくのかを理解することを計画する。また、中国のポピュラーカルチャーが世界に広まる過程で生じる文化的な課題や問題にも目を向け、持続可能な発展のための取り組みを検討する。